

第3回地下空間ワーキング（議事概要）

名古屋駅周辺の大規模な浸水に対して、地下空間における人的被害、施設被害を軽減するため、国、県、市、地下空間に関係する企業等が参加し地下空間の事前の防災行動計画(タイムライン)を検討する「地下空間ワーキンググループ」を昨年10月に設置しました。

第3回目となった今回のワーキングでは、地下空間における防災行動の内容や課題について、ワークショップ（グループ討議）により議論を行いました。

- 日 時：平成28年3月3日（木） 14:00～17:15
- 場 所：名古屋ダイヤビルディング2号館 4階 243号室
- 参加機関：中部地方整備局 庄内川河川事務所、名古屋地方气象台、愛知県警察、名古屋市、名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅地区防火・防災管理協議会 他

<議事内容>

1) 第2回地下空間ワーキングでの意見について

対象とする豪雨や下水排水施設の整備状況など浸水シミュレーションを行う際の計算条件に関して、第2回ワーキングで参加者からいただいた質問に対し、事務局から説明・確認を行いました。

2) 浸水リスクの共有

内水や外水による地下街への浸水可能性の評価結果や表示方法等について事務局から説明し、意見交換を行いました。

3) 地下施設の浸水シミュレーションについて

地下施設の浸水シミュレーションの解析方法等について事務局から説明し、意見交換を行いました。

4) 参加機関によるワークショップ（意見交換）

4つのグループに分かれて、事前防災行動計画（タイムライン）を検討する上で予め決めるべき前提条件として、対象とする豪雨や下水道等の施設整備の状況、避難施設やルート、防災行動のタイミング等について意見交換を行いました。



石川所長 挨拶



松尾座長 挨拶



会議の様子



ワークショップの様子



ワークショップの発表



ワークショップの発表